

経済研究の基礎 2011 年度

国際経済 課題2

岩村 英之

出題日 2012 年 1 月 10 日

講義で扱った数値例について、貿易をしない場合の外国における米の相対価格（テレビで測った米の価格、米とテレビの交換比率）が 0.5 となることを説明しなさい。

米 1 トンの生産に必要な労働者数 5 人
テレビ 1 台の生産に必要な労働者数 10 人

ヒント・注意

- 講義で扱った自国のケースと違って、10 人家族を想定するとよい。
- 米の相対価格が (1)0.5 より大きい場合、(2)0.5 より小さい場合、(3)0.5 に等しい場合の 3 つに分け、それぞれプリント中の図 5～図 7 と同じものを作成する。
- その上で、家族で水田・工場どちらで働くほうが得かを判断し、人々がどちらに集中するかを明らかにする。
- それぞれのケースで相対価格がどのように動くかを説明し、結果として 0.5 に落ち着くことを示せばよい。
- 図の部分は手書きでもよい（とは言え、このくらいの作図は Word でできるようになって欲しいですが）。

提出

- MS Word 等のワープロソフトで作成の上、A4 用紙に印刷すること。
- 表紙は不要です。1 ページ目の最上段に学籍番号と氏名を明記してください。
- 可能ならば、1 月 17 日の講義時（「経済研究の基礎」最終回）に提出してください。